

質 疑 応 答 書

(令和8年4月21日)

伊東市地域課題解決型プラン推進事業業務委託に係る公募型プロポーザルについて質問があったので回答する。

番号	質問及び回答内容
質問1	事業目的・成果 (1) 本事業において想定している事業化とはどのような状態を指すか (2) 本事業で特に重視されている成果の内容（例：起業数や地域と新規事業者との関係創出） (3) 本事業を通じて、単年度だけでなく、中長期的にどのような状態を目指しているか (4) 過去に類似事業を実施している場合、その実績・課題・改善点の共有は可能か (5) 地域課題として優先度の高いテーマ（業種や産業）は設定しているか
回答1	(1) 市からの補助金等に頼らず、自走できる状態 (2) 地域課題解決につながる、提案者と地域事業者等との関係創出 (3) 新規事業に取り組みやすい環境の醸成 (4) 契約後においては可能 (5) 現時点でテーマは設定していない
質問2	コンテストの設計・運営について (1) 応募件数や最終審査に進む件数に関する現時点での想定 (2) 一次審査や最終審査において、特に重視している評価ポイント (3) 審査員の構成において、重視する観点（地域性や専門性等）
回答2	(1) 応募件数については想定していない。最終審査に進む件数に関しては、5～6社程度を想定 (2) 当市の地域課題解決や地域資源の活用など、伊東市で取り組む意義があるか (3) 地域性の理解と新規事業への見識
質問3	事業化支援や連携体制について (1) 協賛企業やコンテスト後の支援体制について、想定している関係機関（企業や団体等） (2) コンテスト後の受賞者以外の参加者に対するフォローの可否
回答3	(1) 提案及び契約後の協議による。なお、前回体制については伊東市HPを参照（ https://www.city.ito.shizuoka.jp/gyosei/soshikika ）

	<p>rasagasu/gyoseikeieika/shiseijoho/1/13842.html)</p> <p>(2) 可能</p>
質問4	<p>プレイベントについて</p> <p>(1) プレイベントにおいて、特に重視している点（参加者の裾野拡大や地域・地域課題への理解促進等）</p> <p>(2) プレイベントの優先度の高い実施形態（セミナー、ワークショップ、交流会）は設定しているか</p>
回答4	<p>(1) 参加者の裾野拡大や地域・地域課題への理解促進等</p> <p>(2) セミナー、ワークショップを想定しているが提案及び契約後の協議による</p>
質問5	<p>参加者について</p> <p>(1) 参加者はスタートアップ（創業前後の起業家・起業予定者）と新規事業開発を行う既存事業者のどちらを主な対象として想定しているか</p> <p>(2) 学生の参加について、特に期待している役割</p>
回答5	<p>(1) 両方</p> <p>(2) 属性ごとの特別な役割は想定していない</p>
質問6	<p>広報について</p> <p>(1) 市として活用可能な広報手段（HPやSNS等）について、どの範囲まで利用可能か</p> <p>(2) 特にリーチしたいターゲット層（若手、移住希望者、地域経営者など）</p> <p>(3) 今後継続して実施することを見据えて、どのようなブランド化を想定しているか</p>
回答6	<p>(1) HP、メールマガジン、LINE、X等</p> <p>(2) 現時点でターゲット層を決定していない。提案及び契約後の協議による</p> <p>(3) ビジネスに偏らず、地域課題解決に資する事業提案を実現する方向でのブランド化</p>
質問7	<p>役割の分担について</p> <p>(1) 市職員の関与の程度</p> <p>(2) 会場手配について、市側で協力することができる範囲</p>
回答7	<p>(1) 提案及び契約後の協議によるが、基本的に受託者が担うこととする</p> <p>(2) 市所有の施設の予約、提供。なお、前回までは伊東市生涯学習センターひぐらし会館を提供</p>
質問8	その他

	(1) 受賞者に対する補助金の現時点での制度設計 (2) 見積金額の多寡が評価に与える影響
回答 8	(1) 令和 7 年度受賞者と同じ (2) 評価基準表による